

2012年11月2日

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

代表取締役社長
久芳 徹夫

京セラ株式会社

本日の説明内容

1. 2013年3月期上期 決算概要

2. 2013年3月期通期 業績予想

1. 2013年3月期上期 決算概要

2013年3月期上期 決算概要（前年同期比）

（単位：百万円）

	2012年3月期 上期		2013年3月期 上期		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	率 (%)
売 上 高	604,268	100.0	608,431	100.0	4,163	0.7
営 業 利 益	67,763	11.2	25,891	4.3	-41,872	-61.8
税引前四半期純利益	75,565	12.5	35,732	5.9	-39,833	-52.7
当社株主に帰属する 四半期純利益	46,768	7.7	25,371	4.2	-21,397	-45.8
設 備 投 資 額	34,524	5.7	26,526	4.4	-7,998	-23.2
減 価 償 却 費	28,998	4.8	28,684	4.7	-314	-1.1
研 究 開 発 費	23,665	3.9	23,866	3.9	201	0.8
平均為替レート	ドル	80円	79円			
	ユーロ	114円	101円			
為替変動による 影響額 (前年同期比)	売上高	約 -230億円	約 -125億円			
	税引前 四半期純利益	約 -55億円	約 -55億円			

2013年3月期上期 事業セグメント別売上高（前年同期比）

（単位：百万円）

■ 事業セグメント	2012年3月期 上期		2013年3月期 上期		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	率 (%)
■ ファインセラミック部品関連事業	41,981	7.0	38,399	6.3	-3,582	-8.5
■ 半導体部品関連事業	81,754	13.5	82,483	13.6	729	0.9
■ ファインセラミック応用品関連事業	90,712	15.0	85,424	14.0	-5,288	-5.8
■ 電子デバイス関連事業	115,830	19.2	140,815	23.1	24,985	21.6
部品事業 計	330,277	54.7	347,121	57.0	16,844	5.1
■ 通信機器関連事業	90,024	14.9	84,333	13.9	-5,691	-6.3
■ 情報機器関連事業	121,190	20.0	116,787	19.2	-4,403	-3.6
機器事業 計	211,214	34.9	201,120	33.1	-10,094	-4.8
■ その他の事業	76,186	12.6	74,861	12.3	-1,325	-1.7
調整及び消去	-13,409	-2.2	-14,671	-2.4	-1,262	-
売上高	604,268	100.0	608,431	100.0	4,163	0.7

- 新規子会社の寄与による電子デバイス関連事業の増収
- 通信機器関連事業での携帯端末の販売台数の減少
- 情報機器関連事業での円高の影響による減収

2013年3月期上期 事業セグメント別事業利益（前年同期比）

（単位：百万円）

■ 事業セグメント	2012年3月期 上期		2013年3月期 上期		増減	
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	率(%)
■ ファインセラミック部品関連事業	7,268	17.3	4,535	11.8	-2,733	-37.6
■ 半導体部品関連事業	17,873	21.9	13,862	16.8	-4,011	-22.4
■ ファインセラミック応用品関連事業	6,356	7.0	5,288	6.2	-1,068	-16.8
■ 電子デバイス関連事業	17,623	15.2	-11,879	-	-29,502	-
部品事業 計	49,120	14.9	11,806	3.4	-37,314	-76.0
■ 通信機器関連事業	326	0.4	801	0.9	475	145.7
■ 情報機器関連事業	15,828	13.1	11,106	9.5	-4,722	-29.8
機器事業 計	16,154	7.6	11,907	5.9	-4,247	-26.3
■ その他の事業	3,495	4.6	4,345	5.8	850	24.3
事業利益 計	68,769	11.4	28,058	4.6	-40,711	-59.2
本社部門損益等	6,796	-	7,674	-	878	12.9
税引前四半期純利益	75,565	12.5	35,732	5.9	-39,833	-52.7

- AVXの環境汚染浄化費用の計上及び需要低迷による部品事業の減益
- 円高の影響による情報機器関連事業の減益

2013年3月期第2四半期 決算概要（第1四半期比）

（単位：百万円）

	2013年3月期				増 減		
	第1四半期		第2四半期				
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	率 (%)	
売 上 高	297,726	100.0	310,705	100.0	12,979	4.4	
営 業 利 益	-2,002	-0.7	27,893	9.0	29,895	-	
税引前四半期純利益	4,727	1.6	31,005	10.0	26,278	555.9	
当社株主に帰属する 四半期純利益	6,570	2.2	18,801	6.1	12,231	186.2	
設 備 投 資 額	13,191	4.4	13,335	4.3	144	1.1	
減 価 償 却 費	13,849	4.7	14,835	4.8	986	7.1	
研 究 開 発 費	11,745	3.9	12,121	3.9	376	3.2	
平均為替レート	ドル	80円		79円			
	ユーロ	103円		98円			
為替変動による 影響額 (前四半期比)	売上高			約 -35億円			
	税引前 四半期純利益			約 -15億円			

2013年3月期第2四半期 事業セグメント別売上高（第1四半期比）

（単位：百万円）

■ 事業セグメント	2013年3月期				増減	
	第1四半期		第2四半期		金額	率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
■ ファインセラミック部品関連事業	19,069	6.4	19,330	6.2	261	1.4
■ 半導体部品関連事業	38,400	12.9	44,083	14.2	5,683	14.8
■ ファインセラミック応用品関連事業	42,600	14.3	42,824	13.8	224	0.5
■ 電子デバイス関連事業	69,891	23.5	70,924	22.8	1,033	1.5
部品事業 計	169,960	57.1	177,161	57.0	7,201	4.2
■ 通信機器関連事業	41,521	14.0	42,812	13.8	1,291	3.1
■ 情報機器関連事業	58,483	19.6	58,304	18.8	-179	-0.3
機器事業 計	100,004	33.6	101,116	32.6	1,112	1.1
■ その他の事業	34,689	11.6	40,172	12.9	5,483	15.8
調整及び消去	-6,927	-2.3	-7,744	-2.5	-817	-
売上高	297,726	100.0	310,705	100.0	12,979	4.4

- セラミックパッケージの伸びによる半導体部品関連事業の増収
- 京セラコミュニケーションシステム(株)の売上増によるその他の事業の増収

2013年3月期第2四半期 事業セグメント別事業利益（第1四半期比）

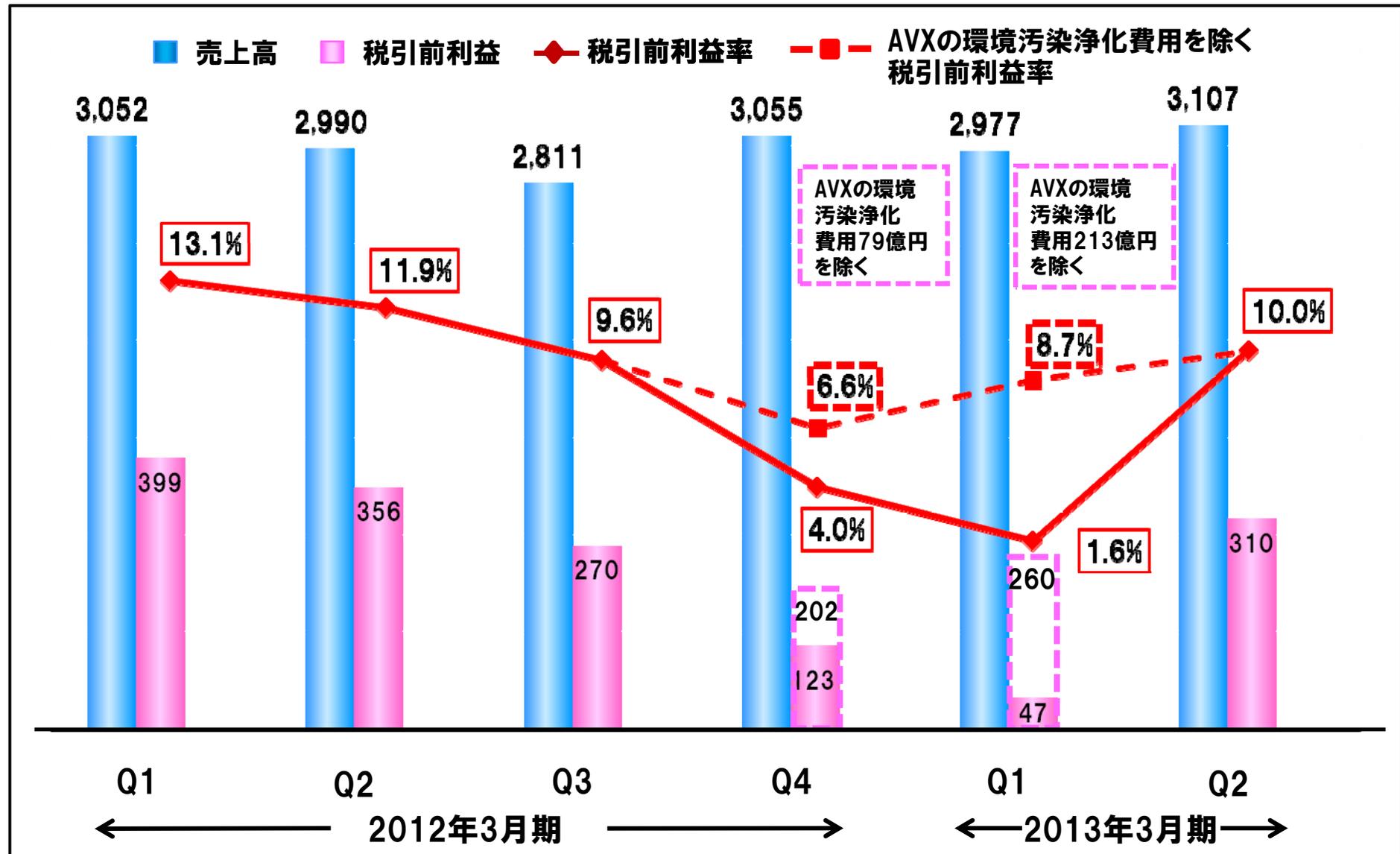
（単位：百万円）

■ 事業セグメント	2013年3月期				増減	
	第1四半期		第2四半期		金額	率(%)
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)		
■ ファインセラミック部品関連事業	2,334	12.2	2,201	11.4	-133	-5.7
■ 半導体部品関連事業	5,705	14.9	8,157	18.5	2,452	43.0
■ ファインセラミック応用品関連事業	1,483	3.5	3,805	8.9	2,322	156.6
■ 電子デバイス関連事業	-17,503	-	5,624	7.9	23,127	-
部品事業 計	-7,981	-	19,787	11.2	27,768	-
■ 通信機器関連事業	-206	-	1,007	2.4	1,213	-
■ 情報機器関連事業	5,702	9.7	5,404	9.3	-298	-5.2
機器事業 計	5,496	5.5	6,411	6.3	915	16.6
■ その他の事業	1,244	3.6	3,101	7.7	1,857	149.3
事業利益 計	-1,241	-	29,299	9.4	30,540	-
本社部門損益等	5,968	-	1,706	-	-4,262	-71.4
税引前四半期純利益	4,727	1.6	31,005	10.0	26,278	555.9

- 増収効果による利益改善
- 第1四半期にはAVXの環境汚染浄化費用213億円を計上

四半期別業績推移

(単位:億円)



2. 2013年3月期通期 業績予想

2013年3月期下期の事業環境見通し

1. 世界的な景気不透明感の高まり

- 中国市場の成長率鈍化
- 欧州景気後退の長期化

2. 主要市場での需要の鈍化

- デジタルコンシューマ機器市場、自動車関連市場、情報機器市場での需要は期初見通しを下回る

3. 国内ソーラーエネルギー市場の拡大

- 公共産業用市場向けの需要増加

2013年3月期通期 業績予想

(単位:百万円)

	2012年3月期		2013年3月期				増減金額	
	金額	売上高比 (%)	前回予想 (2012年8月公表)		今回予想 (2012年10月公表)			
			金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	前期比	前回予想比
売上高	1,190,870	100.0	1,370,000	100.0	1,320,000	100.0	129,130	-50,000
営業利益	97,675	8.2	118,700	8.7	100,000	7.6	2,325	-18,700
税引前当期純利益	114,893	9.6	129,900	9.5	115,000	8.7	107	-14,900
当社株主に帰属する 当期純利益	79,357	6.7	86,400	6.3	75,000	5.7	-4,357	-11,400
希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する当期純利益 (円)	432.58	—	470.99	—	408.85	—	-23.73	-62.14
設備投資額	66,408	5.6	70,000	5.1	67,000	5.1	592	-3,000
減価償却費	62,374	5.2	73,000	5.3	70,000	5.3	7,626	-3,000
研究開発費	45,559	3.8	55,000	4.0	55,000	4.2	9,441	—
平均為替レート	対ドル: 79円	対ユーロ: 109円	対ドル: 79円	対ユーロ: 97円	対ドル: 79円	対ユーロ: 101円		
為替変動による影響額 (前期比)	売上高	約-400億円		約-220億円		約-140億円		
	税引前 当期純利益	約-100億円		約-120億円		約-70億円		

(注) 2013年3月期業績予想の希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は、2013年3月期第2四半期の希薄化後の期中平均発行済株式数を用いて算出しています。
最終ページに記載の「将来予想に関する注意事項」にご留意ください。

2013年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位:百万円)

■ 事業セグメント	2012年3月期		2013年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (2012年8月公表)		今回予想 (2012年10月公表)			
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	前期比	前回 予想比
■ ファインセラミック部品関連事業	80,372	6.7	90,000	6.6	77,000	5.8	-3,372	-13,000
■ 半導体部品関連事業	153,420	12.9	180,000	13.1	170,000	12.9	16,580	-10,000
■ ファインセラミック応用品関連事業	179,784	15.1	220,000	16.1	210,000	15.9	30,216	-10,000
■ 電子デバイス関連事業	228,721	19.2	310,000	22.6	284,000	21.5	55,279	-26,000
部品事業 計	642,297	53.9	800,000	58.4	741,000	56.1	98,703	-59,000
■ 通信機器関連事業	178,669	15.0	180,000	13.1	201,000	15.2	22,331	21,000
■ 情報機器関連事業	243,457	20.4	259,000	18.9	241,000	18.3	-2,457	-18,000
機器事業 計	422,126	35.4	439,000	32.0	442,000	33.5	19,874	3,000
■ その他の事業	151,987	12.8	160,000	11.7	164,000	12.4	12,013	4,000
調整及び消去	-25,540	-2.1	-29,000	-2.1	-27,000	-2.0	-1,460	2,000
売上高	1,190,870	100.0	1,370,000	100.0	1,320,000	100.0	129,130	-50,000

2013年3月期 事業セグメント別事業利益予想

(単位:百万円)

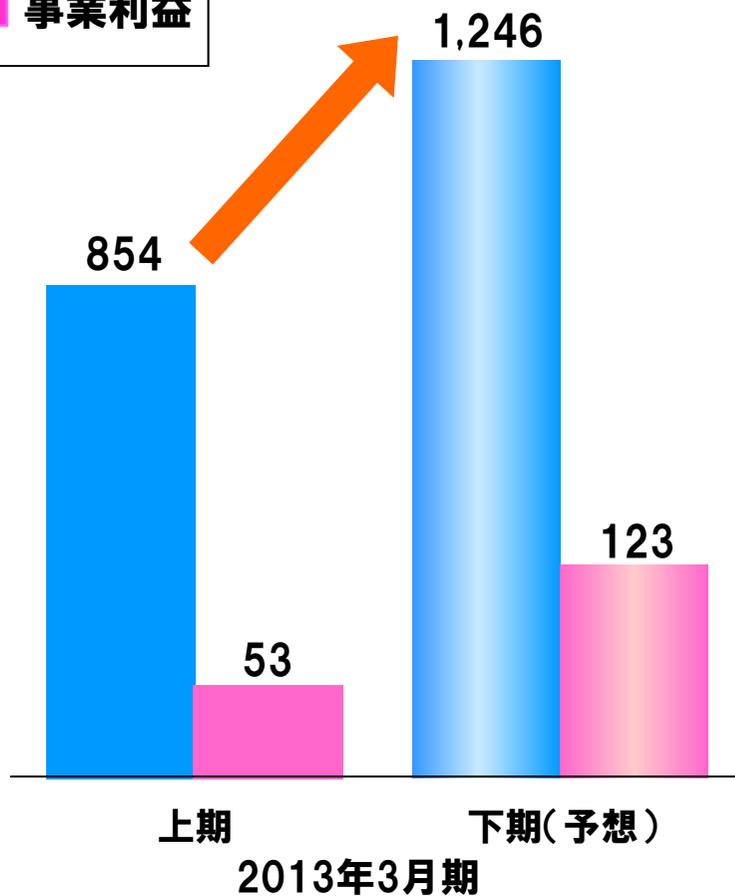
■ 事業セグメント	2012年3月期		2013年3月期				増減金額	
			前回予想 (2012年8月公表)		今回予想 (2012年10月公表)			
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	前期比	前回予想比
■ ファインセラミック部品関連事業	12,622	15.7	14,100	15.7	10,300	13.4	-2,322	-3,800
■ 半導体部品関連事業	27,754	18.1	32,600	18.1	30,000	17.6	2,246	-2,600
■ ファインセラミック応用品関連事業	6,459	3.6	17,000	7.7	17,600	8.4	11,141	600
■ 電子デバイス関連事業	16,036	7.0	5,700	1.8	2,500	0.9	-13,536	-3,200
部品事業 計	62,871	9.8	69,400	8.7	60,400	8.2	-2,471	-9,000
■ 通信機器関連事業	1,469	0.8	9,000	5.0	6,200	3.1	4,731	-2,800
■ 情報機器関連事業	29,451	12.1	29,500	11.4	21,000	8.7	-8,451	-8,500
機器事業 計	30,920	7.3	38,500	8.8	27,200	6.2	-3,720	-11,300
■ その他の事業	8,054	5.3	10,000	6.3	11,500	7.0	3,446	1,500
事業利益 計	101,845	8.6	117,900	8.6	99,100	7.5	-2,745	-18,800
本社部門損益等	13,048	-	12,000	-	15,900	-	2,852	3,900
税引前当期純利益	114,893	9.6	129,900	9.5	115,000	8.7	107	-14,900

下期の取組み①：ファインセラミック応用品関連事業の拡大

ファインセラミック応用品関連事業

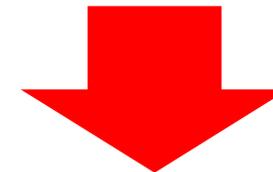
(単位:億円)

■ 売上高
■ 事業利益



ソーラーエネルギー事業の拡大が
下期業績の伸びを牽引

本年(2012年)7月より
国内の再生可能エネルギー
固定価格買取制度 スタート



公共産業市場向けの
受注が急拡大

下期の取組み①：ソーラーエネルギー事業の収益拡大

国内市場での公共産業用の売上拡大

メガソーラーの事業形態別受注案件



モジュール供給



モジュール供給 設計 施工・保守

モジュール供給 設計 施工・保守 発電事業

- 鹿児島七ツ島メガソーラー発電所
- 東京センチュリーリース(株)との共同事業



下期の取組み②：通信機器関連事業の売上拡大

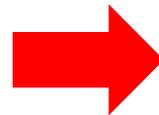
1. 新製品の積極的な投入：4G端末の拡販

NEW
DIGNO S



- ・ KDDI(株)の4G LTE対応
- ・ 当社独自のスマートソニックレシーバー搭載
- ・ 従来のDIGNO(ISW11K)に比べ2台分以上となる国内最大容量のバッテリー[※]搭載

※液晶サイズ5.0インチ以下の国内スマートフォン



4G端末を北米キャリアへ展開

2. 既存製品の拡販：米国での売れ筋モデルの販売促進



**スマートフォン
Hydroの拡販**

防水機能で販売好調

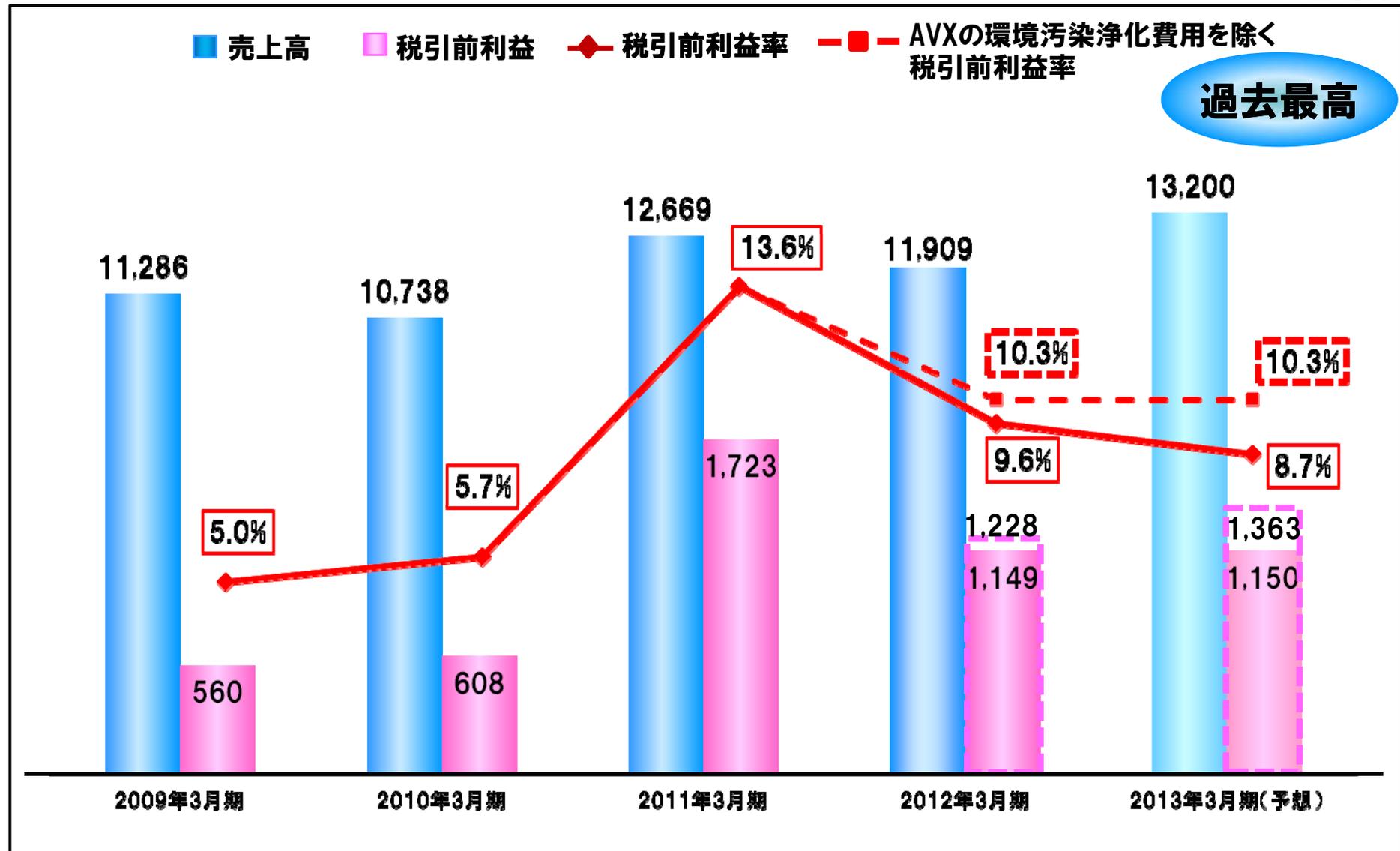


**Duraシリーズの
ラインナップ拡充**

**防水・防塵性に優れた
Push-to-talk端末が
法人ユーザーに好評**

2013年3月期通期 業績予想の達成

(単位:億円)



将来予想に関する注意事項

この資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。かかる将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものです。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。(1) 当社の主要市場である日本、北米、欧州及びアジアの経済状況。(2) 当社が事業を行う国及び地域における経済・政治・法律面の諸条件及びその想定外の変化。(3) 円高、政治・経済情勢、関税及び不十分な知的財産権等の保護等が当社製品の輸出に及ぼす影響。(4) 為替レートの変動が当社の海外資産の価値または製品価格に及ぼす影響。(5) 製品価格、技術革新、製品開発、品質、納期等の面における競争の激化。(6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延または不良の発生。(7) 電力不足や電力費の上昇が当社の生産活動及び販売活動に及ぼす影響。(8) 生産及び開発能力の拡大または現在進行中の研究開発が期待される成果を生み出さない事態。(9) 買収した会社または取得した資産から期待される成果や事業機会が得られない事態。(10) 科学技術分野等の優れた人材の確保が困難となる事態。(11) 当社の企業秘密が漏洩または知的財産権が侵害される事態。(12) 当社が知的財産権侵害に関連する要求または特許実施許諾料の請求を受ける可能性。(13) 国内外の環境規制による賠償責任の発生及び関連費用の負担。(14) 意図しない法規制への抵触または想定していない法規制の導入が当社の事業活動を制約する状況。(15) テロ行為、疾病の発生等が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす悪影響。(16) 地震等の自然災害及びこれに付随する災害によって当社の事業関連施設、サプライヤー及び顧客、並びに社会資本及び経済基盤等が甚大な被害を受ける事態。(17) 当社の顧客の財政状態の悪化により売掛債権の回収が困難となる事態。(18) 当社が保有する投資有価証券等の時価の下落に伴う減損処理の可能性。(19) 当社の長期性資産、営業権、無形資産の減損処理の可能性。(20) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性。(21) 会計基準の変更。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、これらの将来予想に関する記述に明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。